

【令和4年5月18日第76回対策本部会議決定事項（「大阪モデルの見直しについて」）】

- ◆ ステージ移行については、指標の目安の到達状況を踏まえつつ、感染状況や医療提供体制の状況、感染拡大の契機も十分に考慮し、専門家の意見を聴取したうえで、対策本部会議で決定する。

【大阪モデルの状況】

- ◆ 9月13日に「非常事態（赤信号）解除」の目安に到達。

	非常事態解除の目安	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
病床使用率	7日間連続50%未満	50.7%	48.7%	46.2%	44.9%	42.6%	43.4%	44.1%	39.5%
重症病床使用率	7日間連続40%未満	8.9%	9.4%	8.8%	9.3%	9.3%	9.3%	10.1%	8.4%
信号	上記全てが目安に達した場合 黄								

※医療機関休診により、退院状況の確認が困難な場合、退院者が入院患者に含まれることから、翌日公表する入院患者数が、実入院患者数を上回ることがある。



- 9月13日に、大阪モデルの指標が「非常事態（赤信号）」解除の目安を満たしている。
- 新規陽性者数は減少傾向が続いており（前週比が約0.76倍（9月13日時点））、今後も当面の間、医療提供体制のひっ迫状況は改善が見込まれることから、**「非常事態（赤信号）」を解除し、「警戒」に移行（黄信号点灯）する。**（適用日：9月14日）